

和歌山病院での実習を終えて



高木 拓也

今回の実習を通じて、考えることの重要性和楽しさを感じました。レントゲンの原理を理詰めひとつひとつ教えてくださって、今まで暗記で覚えた知識をより深く再認識させられました。授業中、わざわざ考える時間をとり、僕達が答えを出すまで優しく誘導して下さい、ありがとうございました。普段の講義は、受動的な態度で臨むことが多く、今回のような生徒参加型講義はとても新鮮で、記憶に残るものでした。特に、シルエットサインが出来る原理を、ひとつひとつ紐解いていき、その必要十分条件まで吟味できた事は、独学では到底できそうになかったことだったと思います。また、レントゲン読影の講義の後で、結核のレントゲン写真も多数見せて下さり、特徴的な画像はしっかりと読影できる用になったと思います。結核病棟も見学させて頂き、陰圧室、投薬方法（DOTS）も勉強させて頂き、結核の治療の実際を体験することができました。

また、勉強だけでなく晩御飯もごちそうして下さい、ありがとうございました。

和歌山（特に美浜町）に関する伝説の話や、鶏の話など非常に興味深く、楽しい時間を過ごせました。実習は2日と短いものでしたが、密度の濃い、とても有意義な実習だったと思います。今後は、なるべく「なぜそうなるのか」「なぜその治療方法なのか」考えながら、国家試験まで勉強していこうと思います。2日間、ありがとうございました。